

プロフィール



- 加藤拓馬（かとうたくま）
- 平成元年生まれ、兵庫県姫路市出身。幼少期に阪神淡路大震災を経験。早大進学後は、中国広東省のハンセン病快復村でワークキャンプ活動に参加。中国での活動を波及させるべく、単身エジプトの快復村を回ったことも。2011年春、卒業と同時に宮城県気仙沼市唐桑町に移住、震災復旧復興活動に従事。2012年に地域の若者とまちづくりサークル「からくわ丸」を立ち上げる。現在、事務局長。気仙沼市地域支援員。

2011.03.11 東日本大震災

2011.04.05 唐桑入り（支援団体FIWC）緊急支援

2011.05 唐桑ボランティア団結成

2011.06 Gakuvo派遣学生受け入れ開始

2011.11 コミュニティペーパー KECKARAけっから。#0 発行

2012.03 見よう見まね「地元学」導入

2012.04 住民票を移す

2012.05.10～ からくわ丸代表

2013.04～ からくわ丸事務局長

気仙沼市地域づくり推進課 地域支援員

気仙沼市唐桑地域（旧唐桑町）



- 宮城県最北東端に位置する旧唐桑町。
人口7000人弱。
（2006年、気仙沼市と合併。）
- リアス式海岸が続く唐桑半島は国立公園に指定されています。
- 主な産業は漁業。唐桑の牡蠣と言えば知る人ぞ知る名産。かつては遠洋マグロ漁業が最盛期を迎え「唐桑御殿」と呼ばれる豪壮な入母屋造りの家屋が競うように建てられました。
- 東日本大震災後、養殖業の復活や集団移転計画などをいち早く住民主導で始動。住民主催の復興イベントも多く開催されています。最東端であるゆえ「宮城の夜明けは唐桑から」という標語も。リアス式の半島という閉鎖的で過酷で豊かな環境がオリジナリティとバイタリティを生み出す、魅力的なまちです。

からくわ丸



主な活動の経歴

- あるもの探しプロジェクト
「まち歩き」
「クッキングまんま」
- コミュニティペーパー
「KECKARAけっから。」
- わかもの会議
「からくわルーキーズサミット」
- 地域オリジナルグッズ
「GOTEN」
- 子ども対象企画
「ふるさと からくわ いなか学校」
「釣りバカ選手権」など
- 地域の自治会／小中学校にて講演＆ワークショップ
- コミュニティエフエムにてラジオ番組制作
- 地域のお祭り／イベントの協力＆参加 etc.

- 2012年 立ち上げ(疾走)期
→あるもの探し／地元ワカモノの参画
- 2013年 地元化(着地)期
→新生からくわ丸
- 2014年 自信づくり(準備)期
→発信／子ども対象企画開始

主なメンバー数の変遷

